

もりんぴあこうづ開館 10 周年記念事業「秋の芸術祭」開催！！

9 月 27 日(水)から 10 月 11 日(水)まで、2 階ギャラリーMORI×MORI では「成田の書・十人展」が行われました。この十人展は、もりんぴあこうづ開館 10 周年記念事業として企画され、全国規模の展覧会などで活躍する書道家 10 人の作品を展示しました。どの書道家の作品も品位を感じさせる作品ばかりで、そんな作品がいくつも並ぶと圧巻そのもの。ギャラリー以外の目的で来館した人の目もひきつけていました。

展示期間最後の日曜日となる 10 月 8 日(日)には、1 階サロンにて席上揮毫(せきじょうきこう)が行われました。席上揮毫とは大勢の前で書を書くことで、今回披露してくれた書道家 3 名が実際に書いている姿を見れるのは、とても貴重なことで、観衆の多さが物語っていました。

吹き抜けを利用して、2 階からみる方もいて、色々な視点から書く様子を学んでいました。今回、篠原 朝陽さん・森山 南鶴さん・板垣 洞仙さんの 3 名に書いていただきましたが、書きあがった作品を見て誰もが惜しめない拍手を送るほど。篠原さんに至っては小学 6 年生とは思えないほどの達筆を披露しました。

その後、ギャラリーでは作者自ら作品について解説するギャラリートークが行われ、来賓として訪れていた小泉市長も作者に質問するほど、熱心に耳に傾けていました。



禅を学び集中力を高め精神を鎮める

9 月 3 日(日)会議室 D・E では、「椅子の上の座禅」が行われ、25 名の参加者が成田山新勝寺僧侶の清水照住氏、對馬 照寿氏から座禅、数息観の講話を受けました。

ストレス社会の現代。そんなストレスに対して、「禅」を身近に感じてもらい、椅子に座った状態でもできる禅を正しく学んで心身のリフレッシュを目的とします。

数息観とは、自分の呼吸に意識をむけて呼吸の数を数えることにより雑念を発展させないようにし、ストレスや不安を軽減するだけでなく、集中力や想像力を高める効果があると言われています。講座後も僧侶に質問する参加者も見受けられるほど、参加者は真剣に僧侶の話に耳を傾けていました。



ホール中に高々と響く麗らかな歌声！

9 月 9 日(土)に 2 階 MORI×MORI ホールで「もりんぴあ歌声広場♪」が開催され、合唱のほか、朗読と演奏、オカリナ・鍵盤ハーモニカ・フルートの演奏が行われました。

第 1 部では、もりんぴあ合唱部が日頃の練習成果を 4 曲披露。もりんぴあ合唱部は前日に最終練習を予定していましたが、台風の影響による大雨で来館することが危険と判断され、中止となりました。最終練習を行えず迎えた本番でしたが緊張しつつも力強く歌いあげました。

第 2 部では、もりんぴあ合唱部が水色をテーマに 5 曲を披露。その後、スクリーンに歌詞を投影し、観客と一緒に国内外の曲 6 曲を歌い、最後に「ふるさと」を歌い締めくくりました。



トリックオアトリート！もりんぴあ恒例のハロウィンイベント開催



10 月 28 日(土)もりんぴあでは、10 月最後の土曜日に開催することが定着したハロウィンイベントを実施しました。

キッチンスタジオで「クッキー作り教室」が行われ、11 名のこどもが参加しました。ハロウィンと聞いて連想するカボチャを使用したクッキーの焼き方を学びました。作り方は、電子レンジで柔らかくしたカボチャとホットケーキミックス、バター、砂糖を袋の中でよく混ぜあわせます。出来た生地をわけて、1 つずつ丸めます。スプーンのヘリで凸凹をつけて、カボチャの皮をアクセントとしてトッピングして、オーブンで焼き上げます。この日、戸井康子さんが講師として、丁寧かつわかりやすく、教えてくれました。焼きあがったクッキーをみてこどもたちから笑顔が溢れていました。

クッキー作り教室参加者 11 名に 20 名の街歩き参加者を加え、計 31 名のこどもたちが仮装した姿で施設周辺を歩きまわりました。

1 階の受付、アイワ薬局、山王公園、グループホーム「きらら公津の杜」では、「トリックオアトリート」と唱えらるお菓子をもらっていました。きらら公津の杜では、お礼に「クッキー作り教室」で作ったクッキーや歌をプレゼントし、入所者の方々に喜んでもらいました。こどもたちと入所者の方々の異世代間交流ができるのもこのイベントならではの、コミュニティセンターの役割として嬉しい限りです。



図書館だより

なかよしひろばだより

リサイクル本を提供しています

9月24日に行われたもりんぴあフェスティバルにて、図書館での役目を終えた本を無償で配布する「絵本のリサイクルフェア」を開催しました。今年はジャンルを絵本に限定したこともあり、お子さん連れの方を中心に、多くの方が熱心に絵本を選んで持ち帰ってくださいました。昔読んだ絵本を見て、思わず「懐かしい！」と声をあげられる方もいらっしゃいました。リサイクル本はフェアのようにイベントで配布するほか、図書館内の常設のリサイクルコーナーにおいても配布しています。意外な本に出会えたり、また、そのまま手元で活用できるので、来館の際にまずそのコーナーをチェックするのが楽しみ、という声も伺いました。様々なジャンルの一般書・児童書を、どなたでも5冊まで持ち帰りいただけます。どうぞリサイクル本をご活用ください。



ママのハンドベルチームが練習中！

もりんぴあこづ 3階の工芸スタジオでひろばのママたち6名がハンドベルの練習を頑張っています。昨年までは、ひろばスタッフが指導していましたが、今年はママたちが主体となって、曲決めから練習の進行まですべて行っています。「きよしの夜」「サンタが町にやってくる」「あわてんぼうのサンタクロース」の3曲を演奏することになり、パートも皆で話し合って決めました。昨年からのハンドベル経験者もいて、顔見知りの母親同士ということもあって、途中雑談なども交えながら和やかに練習を進めています。

練習の間は、ひろばスタッフがお子さんの見守りをしています。最初はママから離れられなかったお子さんも回を重ねることに慣れてきました。「ハンドベルの練習に連れてくると子どもがのびのび遊べます」と言う声も聞かれました。

本番は12月3日にホールで開催されます。ママたちの奏でる美しい音色がホールに響くのが今から楽しみです。



← 工芸スタジオでの練習風景。
ひろばに実習で来ている学生も子どもたちの見守りを経験しています。

こどものまち同窓会を開催しました

8月6日に開催した「こどものまち」で実行委員を務めた子どもたちの同窓会が11月18日に行われました。この同窓会は、当日を振り返ったり、実行委員でせっかく他の学校の子と仲よかったのに、中々会う機会がないので、再会の場としてや次回への情報共有のために計画されました。体調不良で欠席者が多かったものの、半数以上の実行委員が集まり、今年度は令和4年1月に新しくできた成田市公設地方卸売市場の見学と芋掘りを行いました。市場では店舗を見学し、こどものまちでの配置や商品の並べ方の参考になったようです。その後、大栄地区にある山岡農場へ移動し「紅はるか」を1人約10キロ程度掘り収穫しました。前日の雨で多少ぬかるんでいたものの柔らかくなった土は掘りやすく、みるみる間に袋がお芋でパンパンになっていました。子どもたちにとって忘れられない思い出になったようです。



おまけの1枚



利用者様よりスタジオ1のシンバルが割れているとお申し出がありました。正しく使っていても長い期間使用していると、破損する場合があります。怪我をする危険性があったので、すぐに新しいものを準備しました。施設内の備品はみなさんのものなので大切丁寧に使っていただき、破損があった場合は速やかにお申し出ください。

編集後記

TVで見た「焼き芋」が気に入り、1時間半かけて茨城まで。そこにはTVの影響で行列が！1時間程並んで食べたものは絶品！以前までは、行列に並んでまで食べ物を食べたいとは思わなかったが、これはリピートしたい！普段、行列はないようなので、落ち着いた頃に再訪しようかな。(K)

長かった猛暑が終え、一気に秋が深まり、冬の便りもちらほら。この季節になると子どものころ、近所の山へ行き、今ではあり得ない「ターザンごっこ」を思い出す。木から垂れ下がったツルにぶら下がり、「アアア」と叫び、木になるアケビを食べつくしていた。原始時代？いや、昭和時代です(笑)(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353

E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こづ
Morinpia Kozu